

広島県告示第449号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

令和8年4月16日

広島県知事 横 田 美 香

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	広島県呉市天応塩谷町1番6号 中国化薬株式会社 代表取締役社長 神津 直
工場又は事業場の所在地及び名称	広島県江田島市江田島町小用五丁目1番1号 中国化薬株式会社 江田島工場

2 申請の内容

48 火薬製造業の用に供する洗浄施設6基及び污水处理施設1基を新設する。また、既設の48 火薬製造業の用に供する洗浄施設5基の使用の方法を変更するとともに、污水处理施設3基及び排水口1基の汚染状態及び量を変更する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

(その1)新設

種	類	48 火薬製造業の用に供する洗浄施設 (②煮洗ろ過槽 (HMX 製造工室) (HMX 製造) )
能	力	HMX の洗浄 300kg/日
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに
	工事完成予定年月日	着手後直ちに
	使用開始予定年月日	完成後直ちに

		使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	8時～翌朝8時、18時間 (季節的変動なし)	
		項 目	通 常	最 大
使 用 の 方 法	排 出 さ れ る 汚 水 等 の 状 態	水素イオン濃度 (単位:水素指数)	1.2	1.0
		化学的酸素要求量	4,400	4,700
		浮遊物質 量	24	30
		窒素含有量	590	670
		燐含有量	2	4
		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	590	670
		排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )	3.1	3.6
		汚水等の排出先	廃液処理設備	
		その他参考となるべき事項	同型施設2基設置 コンクリート製床面。排水は工室周辺の排水溝から排水ピットへ(出入り口からの流出防止)。	

(その2)新設

種 類	48 火薬製造業の用に供する洗浄施設 (㊸煮洗る過槽 (第2 HMX 製造工室) (HMX 製造) )	
能 力	HMX の洗浄 300kg/日	
工 期	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	令和9年3月31日

等	使用開始予定年月日	完成後直ちに		
使用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	8時～翌朝8時、18時間 (季節的変動なし)		
	項目	通常	最大	
	排出される 汚水等の 状態	水素イオン濃度 (単位:水素指数)	1.2	1.0
		化学的酸素要求量	(単位: mg/L)	4,400
		浮遊物質		24
		窒素含有量		590
		燐含有量		2
	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	590		
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )	3.2	3.6	
汚水等の排出先	廃液処理設備			
その他参考となるべき事項	同型施設2基設置 コンクリート製床面。排水は工室周辺の排水溝から排水ピットへ(出入り口からの流出防止)。			

(その3)新設

種	類	48 火薬製造業の用に供する洗浄施設 (㊟アルカリ分解ろ過槽 (第2 HMX 製造工室) (HMX 製造))
能	力	HMX の洗浄 300kg/日
工	工事着手予定年月日	許可後直ちに

期等	工事完成予定年月日		令和9年3月31日		
	使用開始予定年月日		完成後直ちに		
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		8時～17時、3時間 (季節的変動なし)		
	項 目		通 常	最 大	
	排出される汚水等の状態	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		11.0	11.5
		化学的酸素要求量	(単位: mg/L)	810	980
		浮遊物質 量		100	150
		窒素含有量		750	940
		磷含有量		2	4
		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物		750	940
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )			8.9	10.7
	汚水等の排出先		廃液処理設備		
その他参考となるべき事項		コンクリート製床面。排水は工室周辺の排水溝から排水ピットへ(出入り口からの流出防止)。			

(その4)新設

種	類	48 火薬製造業の用に供する洗浄施設 (㊸ろ過槽 (第2HMX 製造工室) (HMX 製造) )
能	力	HMX の洗浄 300kg/日

工期等	工事着手予定年月日		許可後直ちに		
	工事完成予定年月日		令和9年3月31日		
	使用開始予定年月日		完成後直ちに		
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		8時～17時、3時間 (季節的変動なし)		
	項目		通常	最大	
	排出される汚水等の状態	水素イオン濃度 (単位:水素指数)		3.0	1.0
		化学的酸素要求量		300	500
		浮遊物質		50	90
		窒素含有量		270	460
		リン含有量		2	4
		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物		270	460
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )		3.4	4.5	
汚水等の排出先		総合排水処理場 (生物処理)			
その他参考となるべき事項		コンクリート製床面。排水は工室周辺の排水溝から排水ピットへ (出入り口からの流出防止)。			

(その5)変更

		変更前	変更後
種	類	48 火薬製造業の用に供する洗浄施設	

		⑫ろ過槽 (RDX 製造)	⑫ろ過槽 (RDX 精製工室) (RDX 製造)
工期等	工事着手予定年月日	—	許可後直ちに
	工事完成予定年月日	—	着工後直ちに
	使用開始予定年月日	—	完成後直ちに
その他参考となるべき事項		同型施設2基	

(その6)変更

			変更前		変更後	
種 類			48 火薬製造業の用に供する洗浄施設			
			⑬アルカリ分解ろ過槽 (HMX 及び RDX 精製)		⑬アルカリ分解ろ過槽 (HMX 製造工室) (HMX 及び RDX 製造)	
工期等	工事着手予定年月日		—		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日		—		着工後直ちに	
	使用開始予定年月日		—		完成後直ちに	
使用 の 方 法	項 目		通 常	最 大	通 常	最 大
	排出される 汚水等の 状態	化学的酸素要求量	700	900	700	980
		窒素含有量	650	860	750	940
		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	650	860	750	940
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )		10.0	11.2	8.9	10.7	

その他参考となるべき事項	HMX 製造工程のみ使用の方法に変更有り
--------------	----------------------

(その7)変更

		変更前		変更後	
種	類	48 火薬製造業の用に供する洗浄施設			
		⑭ろ過槽 (HMX 及び RDX 精製)		⑭ろ過槽 (HMX 製造工室) (HMX 及び RDX 製造)	
工期等	工事着手予定年月日	-		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	-		着工後直ちに	
	使用開始予定年月日	-		完成後直ちに	
使用の方法	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m <sup>3</sup> )	4.0	5.0	3.4	4.5
	汚水等の排出先	廃液処理設備		総合排水処理場 (生物処理)	
その他参考となるべき事項		HMX 製造工程のみ排出水量に変更有り			

(その8)変更

		変更前		変更後	
種	類	48 火薬製造業の用に供する洗浄施設			
		⑳ろ過槽 (HMX 及び RDX 精製)		⑳ろ過槽 (HMX 製造工室) (HMX 及び RDX 製造)	
工期等	工事着手予定年月日	-		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	-		着工後直ちに	
	使用開始予定年月日	-		完成後直ちに	
使用	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m <sup>3</sup> )	4.0	5.0	3.4	4.5

の方法	汚水等の排出先	廃液処理設備	総合排水処理場（生物処理）
その他参考となるべき事項		HMX 製造工程のみ排出水量に変更有り	

(2) 汚水等の処理の方法

(その1)新設

種	類	NQ 中和槽				
形	式	中和処理施設				
主要寸法	(単位：m)	縦2.0×横6.0×高さ1.5				
能力	(汚水処理)	69m <sup>3</sup> /日				
汚水等の処理方法		アルカリ（苛性ソーダ）による中和				
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに				
	工事完成予定年月日	着工後直ちに				
	使用開始予定年月日	完成後直ちに				
使用の方法	処汚理前等の処汚染後状の況	項 目	処 理 前		処 理 後	
			通常	最大	通常	最大
		水素イオン濃度 (単位：水素指数)	1.0～2.0	1.0～2.0	6.0～8.0	6.0～8.0
		化学的酸素要求量	21.4	33.5	20.7	32.7
		浮遊物質質量	28.5	44.7	27.6	43.5
		窒素含有量	893.9	1,058.7	867.0	1,027.0
		磷含有量	1.00	2.00	0.97	2.00
		ノルマルヘキサン抽出物質含有量	ND	5.45	ND	5.29
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )	9.68	11.47	9.98	11.97	

汚水等の排出先	活性炭吸着設備、総合排水処理場
---------	-----------------

(その2)変更

		変更前				変更後											
種類		廃液処理設備（焼却炉）															
工期等	工事着手予定年月日	-				許可後直ちに											
	工事完成予定年月日	-				着工後直ちに											
	使用開始予定年月日	-				完成後直ちに											
使用の方法	処理前の汚染状況	項目	処理前				処理後										
			通常		最大		通常		最大		通常		最大				
			HMX	RDX	HMX	RDX	HMX	RDX	HMX	RDX	HMX	RDX	HMX	RDX			
			ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (単位: mg/L)		28		41		0.00		0.05		28		41		ND

(その3)変更

		変更前		変更後	
種類	総合排水処理場	総合排水処理場		総合排水処理場（加圧浮上処理・生物処理）	
型式	オルガノ関西（株）製 アクチコンタクト	オルガノ関西（株）製 アクチコンタクト		王子エンジニアリング（株）製 排水処理設備 オルガノ関西（株）製 アクチコンタクト	
主要寸法（単位：m）	縦11.8×横22.0×高さ5.7	縦11.8×横22.0×高さ5.7		加圧浮上処理設備：縦5.1×横15.5×高さ3.1 上記以外：縦11.8×横22.0×高さ5.7	
能力（汚水処理）	160.2m <sup>3</sup> /日	160.2m <sup>3</sup> /日		433.9m <sup>3</sup> /日	
汚水等の処理方法	生物処理、活性炭吸着	生物処理、活性炭吸着		加圧浮上処理、生物処理、活性炭吸着	
工期	工事着手予定年月日	-		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日	-		令和9年3月31日	

等	使用開始予定年月日		—								完成後直ちに							
	項 目		処 理 前				処 理 後				処 理 前				処 理 後			
			通 常		最 大		通 常		最 大		通 常		最 大		通 常		最 大	
			HMX	RDX	HMX	RDX	HMX	RDX	HMX	RDX	HMX	RDX	HMX	RDX	HMX	RDX	HMX	RDX
使 用 の 方 法	処 理 前 の 汚 染 状 況	化学的酸素要求量	40.6	50.0	40.0	47.0	19.2	19.2	22.4	22.4	40.0	47.0	47.8	46.1	66.4	62.7		
		浮遊物質質量	37.1	55.8	20.0	35.0	40.5	37.1	64.0	55.8	20.0	35.0						
		窒素含有量	31.0	48.1	17.5	36.0	23.4	23.4	31.7	31.7	17.0	36.0	27.2	26.2	45.7	44.2		
		（単位： mg/L）	2.16	4.31	2.00	4.00	1.90	2.12	3.80	4.26	1.50	4.00						
		ノルマルヘキサン抽出物質含有量	0.05	0.10	0.00	0.05	63.50	ND	109.00	ND	ND	ND						
		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	31.0	48.1	17.5	36.0	23.4	23.4	31.7	31.7	17.0	36.0						
		ダイオキシン類	3.00	5.00	3.00	5.00	ND	2.0	ND	3.0	1.5	2.5	pg-TEQ/L)					
	排出される汚水等の1日当たりの量（単位：m <sup>3</sup> ）	118.8	146.9	118.8	146.9	52.35	181.49	52.35	180.69	75.25	197.55	75.25	196.55	233.84	233.04	272.80	271.80	
その他参考となるべき事項		変更後の「処理前処理後の汚水等の汚染状況」について、上段は加圧浮上処理前、下段は生物処理前を示す。																

(その4)変更

		変更前				変更後				
種 類		活性炭吸着設備								
工期等	工事着手予定年月日	—				許可後直ちに				
	工事完成予定年月日	—				着工後直ちに				
	使用開始予定年月日	—				完成後直ちに				
使用の方法	処理前の汚水等の汚染状況	項 目	処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (単位: mg/L)	3.90	5.29	0.00	0.05	ND	5.29	ND	ND	

(3) 排水水の汚染状態

(その1)変更

排水口名	項 目	変 更 前		変 更 後			
		通常	最大	通常		最大	
				HMX	RDX	HMX	RDX
排水口 No. 1	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	6.5~8.2	6.5~8.2	6.5~8.6		6.5~8.6	
	化学的酸素要求量	16	19	22		27	
	窒素含有量	7	14	9		20	
	リン含有量	0.8	1.5	0.8		2.2	
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	0.00	0.05	ND		ND	

アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物		7	14	9		20	
ダイオキシン類	(単位： pg- TEQ/L)	1	2	0.7		1.5	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )		318.80	346.90	433.84	433.04	472.80	471.80

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧方法

(1) 縦覧期間

令和8年4月16日（木）から令和8年5月7日（木）まで

(2) 縦覧方法

書面の縦覧場所 広島県環境県民局環境保全課及び広島県西部厚生環境事務所呉支所衛生環境課並びに江田島市生活環境課

インターネット <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/juuran-seto.html>